

令和2年度一般財団法人泉佐野市文化振興財団事業計画

令和3年度は泉佐野市の方針により、1年間の随意選定にて4公民館を含めた管理運営を受託することとなります。

現在のコロナ禍による様々な影響や新型コロナウイルスの収束が見通せない状況の中、財団は新しい生活様式に則した施設運営や文化振興の在り方が求められています。

よって、今日まで実施してきた事業を見つめ直し、今後のスタンダードな業務の一つとなるリモート化やキャッシュレス化への対応、また文化振興事業における通信・配信型事業の企画など、新しい社会様式を組み入れた事業展開を模索、検討し、早急に実施して参ります。

そして、引き続き「利用者ニーズを反映した施設運営」「安全・安心で快適な施設管理」「市民参加と多様なジャンルでの文化振興」の三つを基本方針としながらも、新しいスマートライフの中での事業運営を推し進めて参ります。

貸館事業においては、利用者ニーズを反映した施設運営の継続に加え、新型コロナウイルス感染拡大防止策の徹底と、それに伴う施設利用基準等の指針を明示、遵守し、安全に安心して利用できる施設運営に取り組みます。

また、使用料やチケット代金のキャッシュレス化を具現化するべく検討し、利用者の立場にたった、より便利で、安心して利用できる施設運営の実現を目指し、さらなるサービスの向上と公の施設として平等な利用を促進します。

次に、施設管理事業においては、開館から25年を迎えようとしており、建物および主要設備機器の老朽化による故障や、交換部品等の供給終了によるメンテナンス不可などの不具合が多発してきています。

また、建築物や消防、ビル管理などの法改正により、現在の基準に合致しない建物および設備機器類の既存不適格ヶ所が多数発生しております。

よって、設置者である泉佐野市に建物ならびに設備機器の改修・更新計画資料を提案し、現行法規に沿った安全に利用いただける施設運用に努めます。

また、年次目標を立て光熱水費の縮減に努め、清掃や設備管理等の各業務に対して適切な人材を配置し、良好な衛生環境、美観、設備機能に心掛けます。

また、あらゆる災害の発生時に備え、既存の危機管理マニュアルを改定、整備し、安全・安心な施設の確保に努めます。

三つ目に、文化振興事業においては「市民参加型事業」を中心としながら、「音楽家・美術家等の発掘・育成・普及事業」「オーケストラ・室内楽事業」「一般鑑賞型事業」「地域の発展を目指した事業」に「賑わいづくり事業」を加えた6分野で計画し、実施して参ります。

またコロナ禍によるイベントの通常開催がままならない状況ではありますが、公演を長らく待ち望んでいる地域住民の期待に応えるべく、配信型公演の企画や感染拡大防止策を徹底したうえでの観客を交えた公演を実施して参ります。

また、公民館事業においても、同様の感染拡大防止策を徹底したうえで、既存の講座のみならず、財団独自の企画による公演や事業を展開し、より魅力のある文化振興を様々な内容にて広域的に展開して参ります。

1. 貸館業務

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大の防止対策を徹底し、安心して利用頂ける施設内環境を目指します。
- (2) 利用登録者に施設の安全性を示した案内をメール等で周知し、コロナ禍での施設利用減少の回復に注力します。
- (3) キャッシュレス化の実現に向け、施設使用料およびチケット販売等のオンライン決済ならびに窓口でのクレジットカード決済、スマホ決済の具現化を目指します。
- (4) 泉の森ホールでの利用機会の充実に向けて、大ホールホワイエの単独使用をはじめ、本来の目的に捉われない新たな施設の使用方法を実施します。
- (5) 泉の森ホールと生涯学習センターとの施設相互予約システムや電子メールでの施設予約システムを活用し、両施設の更なる利用促進、ならびに利用者の利便性を高めて参ります。
- (6) ワンストップサービスの充実を図り、きめ細やかなサービスの提供に努めます。
- (7) キッズコーナーの充実、赤ちゃんの駅の設定、ベビーシートやおむつ台、レンタルスペースの設置により、利用者ニーズに可能な限りこたえられるよう努めます。
- (8) 泉佐野市と協議、調整のうえ、各公民館の利用条件の見直しを図り、各会場の利用機会を促進して参ります。
- (9) 各公民館のクラブ活動の活性化を図るべく、クラブ登録の条件を泉佐野市と協議のうえ緩和し、地域住民による自主的な生涯活動をサポートして参ります。

2. 施設の維持管理業務

- (1) コロナウイルス感染防止策として、各施設の清掃員、職員による日々の消毒、除菌を含めた清掃活動を強化します。
- (2) 感染拡大予防として、館内の空気調和機・換気システムの連続的な運転を実施いたします。
- (3) 新型コロナウイルス感染対応時のマニュアルを作成、周知し、有事の際に備えます。
- (4) 文化センターの経年劣化による設備機器の改修・更新に備えて、建築設備更新計画案を泉佐野市に提案、協働し、安全で安心できる施設の維持管理に努めます。
- (5) 各施設の消防計画や危機管理マニュアルを現状に合致した内容に改定し、不測の事態事故に備えます。
- (6) 環境保護方針・計画を策定し、また年次目標を設定し、光熱水の効率的な運用並びに廃棄物の抑制をおこない、環境にやさしい施設づくりに取り組みます。
- (7) 建物、設備機器の法令点検やメンテナンス業務を計画的に実施し、施設を最良の状態に保てるよう努めます。
- (8) 軽微な修繕や点検業務については、職員及び従業員で実施し、維持管理経費の軽減に努めます。
- (9) 佐野・長南公民館は、文化センターと同様に建物や設備機器の老朽化が大きな問題となっています。よって建築設備更新計画案を泉佐野市に提案し、利用者の安全性を最優先に考えた、安心して利用できる公民館運営を目指します。
- (10) 令和元年度から管理運営が開始しました日根野公民館については、他施設の管理を長期にて手掛けてきた実績を活かし、今後の中期的な建物及び設備機器の修繕、更新計画を立案して参ります。

3. 文化振興事業

現在コロナ禍による劇場等での通常公演がままならない状況にあるなか、市民の鑑賞機会の欲求は非常に大きなものと推測できます。

しかしながら感染の恐怖や戸惑いにより、ホールをご利用されるのを躊躇される思いも多分にあると考えます。

よって財団は、政府や関連団体が提唱する新型コロナウイルス感染拡大防止策を遵守、徹底したうえで、それを広く周知し、安心して鑑賞できる場を提供して参ります。

併せて感染防止ガイドラインに準じた施策で、新しい基準の公演体系を構築したうえで配信型公演などの新しい劇場様式も交えた文化振興事業を企画、実施して参ります。

また、今日までエブノ泉の森ホールで培ってきた経験と実績、更に泉佐野市文化協会、泉の森コンクール委員会、泉佐野市音楽家クラブ、泉佐野おや子劇場など地域団体との連携を最大限に活かした文化振興事業を展開します。

今後の新しい事業運営の一つとして、今まで財団が築き上げてきたコネクションを活用し、学校等の鑑賞会に併せた企画を制作、セールスし、文化会館または公民館にて観覧いただくシステムを調査、研究し、ニーズに合った企画の提案や開催方法を構築して参ります。

なお、全体の文化振興事業は、下記の6つの分野を主軸としてバランスの取れた事業計画を提案して参ります。

また、公民館事業については、先に記載した関係諸団体と連携しつつ、今までの公民館事業では開催の難しかった演奏会や講演会等を企画・実施して参ります。

(1) 文化振興事業編成

概ね、次の事業編成を計画しております。

- ① 市民参加型事業
- ② 音楽家・芸術家等の発掘・育成・普及事業
- ③ オーケストラ・室内楽事業
- ④ 一般鑑賞型事業
- ⑤ 地域文化の発展を目指した事業
- ⑥ 賑わいづくり事業

(2) 広報・宣伝

年3回発行の情報紙「エブノ泉の森ニュース」を泉佐野市全戸に市報と同時配付することを軸としつつ、新たな試みとして「Web広告」を導入し近隣地域を中心に、より広域的な配信と新たな顧客の獲得を目指します。

加えて、チラシ配布や公演ポスターの掲示に加え、公用車でのPRやホームページ等を活用して情報提供に努めます。

また、時代に沿った活動として「Twitter」や「Facebook」「LINE」「Instagram」などのSNSによる情報発信を拡張して参ります。

なお、昨年夏に開設した「文化会館公式YouTube」を活用し、配信型コンサートなど様々な動画配信を企画・実施して参ります。

(3) 情報収集

利用者の意見を把握するために事業実施の際、来場者アンケートの配布を行い、情報収集に努めます。項目については個人情報に抵触しない範囲内で、「公演の感想」「交通手段」「年齢」「居住地」など意見をご記入いただきます。

また、文化会館公式「T w i t t e r」や「L I N E」などのSNSでの「つぶやき」や「コメント」をすくい上げ、ダイレクトな感想や意見を活用して参ります。

また、様々な団体や協議会等の研修会や講座に参加することにより、他館との交流を深め、他施設や近隣地域の文化情報等の収集に努めます。

4. 友の会の運営

近年の会員数の減少傾向に加え、コロナ禍による文化振興事業の中止や臨時休館にて更なる会員数の落ち込みが生じています。

よって、今後の友の会組織の在り方を検討し、現代のニーズに合致した魅力ある組織の再構築及び運営方法を検討し、実施して参ります。

また、友の会組織に付随した文化振興事業のサポーターとして活動頂く、ボランティアスタッフの育成ならびにスタッフの増加に努めて参ります。

(1) 事業の充実

- ① 会員対象のオリジナル公演の企画
- ② 話題作を無料で鑑賞できる「名画鑑賞会」
- ③ 若手演奏家による「ガラコンサート」並びに「フレッシュコンサート」への招待
- ④ 可能な限り「友の会限定」事業の実施や優先チケットの案内を増加

(2) 特典・サービスの充実

- ① 「友の会意見交換会」の実施（年1回）
- ② 「入会金無料キャンペーン」の定例化並びにお友達紹介キャンペーンの実施
- ③ ポイントカードの導入
- ④ 「催し物案内」の定期的な郵送により貸館の情報サービス
- ⑤ 会員更新時には、レストランで利用できる「お食事券」の配布

(3) 組織の見直し

- ① 会員数減少の原因調査及び課題抽出からの対応策の検討及び実施
- ② 会員区分の多様化を検討【本会員・準会員・ネット会員等の分けなど】
- ③ 会報のペーパーベースから通信ベースへの移行を検討
- ④ ボランティアスタッフの活性化を図る企画を検討